

松山市斎場再整備事業 公募条件検討に係る官民対話の質疑応答概要

日時	令和5年9月28日(木) 14:00～15:30
会場	松山市教育研修センター2階 小研修室
1. 事業費について	
事業者	設計費・工事監理費の算出について、算出方法を精査し、本事業の実現に必要な予算を十分に確保していただきたい。
市	今後、予定価格を算出する。いただいたご意見も踏まえ、慎重に検討する。
2. 事業条件について	
事業者	事業者から燃料や電気の調達について提案は可能か。
市	既存斎場の燃料及び電気の調達は市が直営で行っている。現時点では、新斎場整備にあたり電気や燃料の調達をSPCが行う提案をすることは可能と考えているが、実務的な問題等が生じないかを検討したうえで、事業条件を設定する。
3. 評価基準について	
事業者	松山市が環境モデル都市であることを踏まえ、新斎場整備において、CO ₂ 削減に関する提案を適正に評価していただける仕組みづくりをしていただきたい。多くの民間の知恵を出せるよう「環境問題」や「省エネルギー問題」などが評価項目となるようにしていただきたい。
市	評価項目については、いただいたご意見や他自治体の事例等を踏まえて今後検討する。
事業者	建設費が高騰しているなか、事業コストありきとなると民間事業者の技術提案が評価されにくくなるため、選定基準のうち価格点と技術点の比率は適正な比率になるよう配慮していただきたい。
市	評価の配点については、民間事業者の技術提案が評価される適正な比率になるよう、今後十分に検討していく。